令和2年	度(令和元年			36-004				
PDCA	事務事業名	運営基盤強化事業	部課等名	水道部 上	上水道課 料	料金担当	担当 内線等	佐藤 490
	政策体系	章: 第3章 にぎわいの		な環境が同	5立するま	ち	1 1	
Р		節: 第3節 生活環境の向上						
An		基本施策: 1. 水道						
総		単位施策: (2)健全経営						
合計画との関係性等	担地法人生	個別施策: ②運営基盤の強化						
	依拠法令等	水道法、半田市給水条例						
	対象・目的	水道料金を適正に徴収するとともに、お客様サービスの向上や経営の対 営基盤の強化に努める。					効率化を図	3り、運
	するための	お客様サービスの向上や経営の効率化を図るため、窓口、検針、開閉栓、 等業務において、民間委託化を実施する。それに伴い、未収金対策では や給水停止によって収納を強化する。また、今後の事業の安定・健全な 和元年度、2年度の2か年で経営戦略等を策定し、将来のビジョンを示す。						て書催告
■ 前年度の活動結果と見られ	活動結果	活動実績			29年度	30年度	元年度	単位
		①給水停止			12	12	12	回
		②料金業務(受付、検針、開	閉栓、滞納團	<b>隆理</b> )	327, 802		331, 177	件
		③検定満期メーター取替			5, 434	4, 396	6, 046	個
				事業費	86, 416	83, 330	92, 363	千円
				人件費	635	625	621	千円
		活動単位当たりのコスト		総事業費	22, 510 29年度	83, 955	92, 984	千円
		1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	17 6		4, 025	30年度 4,049	元年度 4,099	単位 円/個
		②料金業務1件当りコスト	1 1 1		199	198	204	円/件
		<b>と作业未初「Hヨりコハ</b> T			133	130	204	
		成果指標			29年度	30年度	元年度	単位
	成果	①年度末時点における収納率	<u> </u>	実績値	98. 40	98. 47	98. 42	
				目標値	98. 30	98. 40	98. 50	
				実績値				
た				目標値				
成				実績値				
果								
				目標値				
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性		効率性				
		①市の関与の妥当性 妥当	妥当 ④上位施策への貢献		大きい ⑦コストド		削減余地 ある	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の		ある		※対象・	
			⑥類似事業の			⑧受益者負担		ある
		B						
	事業の 評価・課題	お客様サービスの向上や経営基盤強化のため、窓口業務・検針・料金徴収等の包括的な民間委託を継続して実施し、毎月の催告や給水停止などの収納強化を図った。現年での収納率は昨年度より微減となったものの、高い収納率を保つことができている。						
	今後の事業 の方向性	拡充推進 給水収益は、長期的には人口の減少や節水型機器の普及により、減少すると予測され						
		ることから、継続して収納対策の強化や経費の縮減など効率的な運営に努めていく。経営戦略や新水道ビジョンを策定し、将来の展望を示すことにより水道事業の安定化を図っていく。また、口座割引制度の廃止についても、具体的な検討を進める。						
		成果指標					日標値	単位
	令和2年度	_						
		①年度末時点における収納率					98. 6	%
の	の目標							